

特集

動き始めたさまざまなまなプロジェクト ～寄居町が変わります～



完成イメージ図

（仮称）寄居PAスマートインターチェンジ連結許可

整備効果
寄居PAは、関越道の花園ICと本庄児玉ICのほぼ中間（IC間距離13・5km）に位置しており、当該IC整備により次の整備効果が期待できます。

○**地域経済の活性化と雇用効果**
寄居PA周辺にはすでに多くの企業が進出しており、既存工場からの物流効率化、企業進出促進が期待できます。また、高速道路へのアクセス性を活かした企業誘致により、地域経済の活性化と雇用強化も期待できます。

○**交通利便性の向上と交通分散による渋滞緩和**
スマートICの設置に伴い、高速道路へのアクセス性が高まることから、地域住民等の交通利便性が向上します。さらに、通行車両の分散が図られ、周辺幹線道路等の渋滞緩和が期待されます。

○**災害に強い地域づくりへの支援**
災害発生時の大動脈となる高速道路の出入口が確保されることにより、周辺地域からの物資輸送や人命救助等、災害時にも大きく貢献します。

事業概要

設置場所／関越自動車道寄居PA（上り・深谷市本郷地内、下り・寄居町大字用土地内）
運用形態／全車種対応・24時間運用
利用対象／ETC車載器を搭載した全車種
利用形態／一旦停止型、フルインター（上下線とも出入り可能）

埼玉エコタウン

寄居町など5市町 県とエコタウン推進協定締結

再生可能エネルギーを活用した、エネルギーの地産地消の推進を目指す「埼玉エコタウンプロジェクト」実施市町が5月1日に発表され、5市町が選定されました。

この中で、市内全域でエコタウン化を進める「埼玉エコタウン」については本庄市と東松山市、地域の特性を活かした先進性の高い特定プロジェクトを指定する「埼玉エコタウン・イニシアティブプロジェクト」につ

いては、寄居町、秩父市、坂戸市がそれぞれ選定されました。また、この決定を受け、県と「埼玉エコタウンプロジェクト」の推進に関する協定」を結びました。

これにより、町は「リサイクルとエネルギー」のプロジェクトとして、彩の国資源循環工場などを中心としたエリアで先進的なエコファクトリーの整備や埋立処分場跡地へのメガソーラー発電施設の設置事業などを、県と協力して推進していきます。

このプロジェクトのポイントは、県のみのならず、民間企業の参画を促していくことであり、今後は、県と町が共同で、ハード面だけでなくソフト面を含めた基本計画を策定して、事業を具体化させていくこととなります。

問い合わせ／企業誘致推進課（☎581・2121内線20）へ。



埼玉エコタウンプロジェクトの推進に関する協定締結式

左から久喜秩父市長、吉田本庄市長、上田知事、森田東松山市長、伊利坂戸市長(当時)、島田町長

事業スケジュール（予定）

平成24年度／事業開始（連結許可、測量設計、地元説明会等）
平成25年度／用地買収、物件補償
平成26年度／工事
平成28年10月供用開始予定（あくまで予定のため、前後する場合があります）

（仮称）寄居PAスマートIC 連結許可書伝達式が行われました

5月7日に深谷市上柴生涯学習センターで、（仮称）寄居PAスマートIC設置のための連結許可の伝達式が行われ、辻大宮国道事務所長より国土交通大臣からの連結許可書が島田町長に伝達されました。



左から原田美里町長、島田町長、小島深谷市長、辻大宮国道事務所長

1市2町でスマートIC設置に関する協定を結びました
伝達式に引き続き、寄居町、

深谷市、美里町の1市2町によるスマートIC設置に関する協定の調印式が行われ、島田町長、小島深谷市長、原田美里町長が、それぞれ協定書に署名し協定を結びました。

※スマートインターチェンジとは？
ETC専用のインターチェンジで、高速道路のサービステアやパーキングエリアなどから乗り降りができるように設置されるものです。スマートインターチェンジは、通常のインターチェンジに比べ、建設・管理費用を抑制することができ、また、高速道路の有効活用による地域活性化も期待されています。

※連結許可とは？

高速道路と町道を連結してスマートインターチェンジを設置するには、まず、国の許可が必要となります。今回連結許可がおりたことから、今後、地域住民の皆さんのご理解ご協力をいただきながら、地方公共団体（寄居町・深谷市・美里町）とNEXCO東日本が事業分担し、測量・設計、用地買収、工事など、具体的な事業を開始していきます。

問い合わせ／建設課（☎581・2121内線22）へ。

全国育樹祭

埼玉県実行委員会設立



左から島田町長、富岡熊谷市長、上田知事、小島県議会議長、持田県森林組合連合会会長

香淳皇后がヒノキをお手植えされました。それから50年以上の時を経て、金尾山は立派な山林となり、森林が持つ多くの機能を果たしています。

この金尾山が、来年秋に皇太子さまをお迎えして開催される「第37回全国育樹祭」のお手入れ会場となります。「育てようみどりは未来の たからもの」を大会テーマとし、お手入れ行事のほかにも、県内各地でさまざまな行事が行われます。

今後、実行委員会を中心として準備が進められますが、町も積極的にこの行事を通じて、世代を超えて森林を守る大切さを全国に発信したいと考えています。

問い合わせ／農林課（☎581・2121内線40）へ。

